

## 担い手育成特定資産事業 活用事例紹介 吉田 成美さん（一関市）

取材担当 一関農業改良普及センター 畠山 紀智

一関市で令和6年に就農した吉田成美さんを紹介します。吉田さんは、地元の農協に勤務した後、独立・自営でいちご栽培を始めました。

前職では、いちごをはじめとする営農指導に10年以上携わり、年々減少していくいちご生産者の姿を目の当たりにする中で、「いちご栽培に挑戦してみたい」という思いが芽生え、就農を決意したそうです。

令和6年度に新規就農スタートアップ支援事業を活用し、かん水と施肥を自動で行う養液土耕栽培システムを導入しました。「営農指導の経験を通じて、かん水設備の重要性を強く認識しており、ハウスを離れていても自動でかん水量などを調整できるこの装置に、就農前から注目していました。実際に栽培を始めてみると、作業の効率化に大きく貢献していると感じています」と語っていました。

今後は、借用中の中古ハウスを修繕し、作付面積の拡大を計画しています。

吉田さんの今後の活躍が、地域のいちご生産を盛り上げていくと期待されます。



導入した養液土耕栽培システム



新規就農者の吉田さん